

# INFORMATION

## 高校生と社会人のための オープンユニバーシティを開催

本学では、受験生にタイムリーに大学選択の情報を提供しようと高大連携の活動を高め、1月25日(土)に札幌市で、オープンユニバーシティを開催しました。

当日は和田副学長の挨拶のあと、商学科松尾助教授による「おもちゃの『タカラ』に見るヒット商品の秘密」と題した模擬授業が行われ、その後、教員と学生が自分たちの授業内容やゼミの内容、さらには課外活動の内容を十数枚のポスターにまとめ、各自に与えられた掲示板に貼って参加者に説明し、質問や相談に応じるといった形式で進められました。

大学入試センター試験が一週間前に実施され、2日後に国立大学の願書受付が始まるという時期だけに、受験生ばかりでなく高校1年生、2年生にとっても大学入学への関心が高まり、参加した高校生は、各学科、言語センターなどの授業内容やゼミの内容を熱心に聞き、多くの質問をしていました。また、学生によるゼミやサークル活動などの話も和やかに行われていました。

終了後提出されたアンケートには「4月からの通学に大きな希望が持てた」、「小樽商科大学にぜひ入学して勉強したいです。前期試験まであと1ヶ月頑張ります」と書かれていました。

## 第 期 第2回 運営諮問会議を 開催します

12月5日に開催された第1回会議に引き続き、第2回会議を3月26日に開催します。今回は、前回の会議で大学側が説明した学長諮問事項「生活面における学生支援」について審議を行います。その結果は、運営諮問会議の答申の中間まとめとして大学に提出されることとなります。なお、中間まとめの内容は本学ホームページに掲載いたします。

運営諮問会議とは、運営諮問会議は、大学が社会から意見を聴取し社会に対してその責任を明らかにするとの観点から本学の教育研究上の基本的な計画や活動状況について学外有識者の方々に学長の諮問に応じて審議していただき、その結果を学長に対して助言・勧告することを目的に設置しています。

## 外国人留学生が 市内の小・中学校を訪問

12月3日(火)と10日(火)の両日、本学の外国人留学生が市内の小・中学校を訪問しました。

今回の訪問は、日本の社会・歴史・文化等への理解を深めることを目的とした授業である「日本事情」の一環として初めて行われたものです。また、受入れの小・中学校で本年度から本格的に実施されることとなった「総合的学習の時間」の授業とタイアップする形で行われました。

外国人留学生33名が3つのグループに分かれ、3日には市立望洋台中学校、10日には市立色内小学校と市立緑小学校をそれぞれ訪問し、児童・生徒と交流を深めました。特に色内小学校では和菓子作りに挑戦しました。最初に職人さんの作り方を見学した後、5年生の児童たちと一緒に慣れない手つきながら真剣な眼差しであん入りの和菓子を2つ作り、その後自分の作った和菓子を賞味しながら茶道の手前を楽しみました。また、望洋台中学校では日本の伝統的な遊びやゲームを、緑小学校では3年生の児童と習字の授業を体験するとともに、両校では給食をいただきました。

外国人留学生は、楽しい雰囲気の中で日本の文化や伝統行事等にふれることができ、大変喜んでいました。

なお、この企画は平成15年度以降も引き続き行う予定となっております。



## 平成15年度前期スケジュール

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 4月7日  | 前期授業開始                   |
| 8日    | 入学式                      |
| 5月下旬  | 学生定期健康診断<br>学生自治会定期大会    |
| 6月中旬  | 外国語公開講座<br>(英語、ロシア語、中国語) |
| 下旬    | 大学祭                      |
| 7月7日  | 創立記念日                    |
| 下旬    | 前期定期試験                   |
| 8月上旬  | 大学説明会(高校生対象)             |
| 2日~   | 夏季休業(9月30日迄)             |
| 15日   | 緑丘会戦没者慰霊祭                |
| 下旬    | 大学院案内・募集要項発行             |
| 9月30日 | 学位授与式(9月卒業)              |

**編集後記** ヘルメス・クーリエの第1号の発刊から1年が過ぎました。この間、様々な事象が次々に我々の上を通り過ぎてゆきました。物事の移り変わる速度はますます速まることでしょう。

卒業生はこれから始まる社会人生活に、新入生はこれから始まる大学生活に、それぞれ目標を抱いて臨んでいることでしょう。小樽での日々が苦いか甘いか、それを決めるのは自分自身が如何に過ごした、如何に過ごすか、です。あなたの記憶はさてどちら？

編集スタッフ

江口 修、竹内 國雄、堀川まゆみ、  
前田 東岐、八木 宏樹